

# Fusyo Collaboration letter



9月18日 No.18 文責 廣田 秀俊

## 第2回学校評議員会 ～子供達を最優先に～

9月13日(金)に学校評議員会を開催しました。今回ご参加いただいたのは、元中津市教育長 栗田 英代様 大分教育事務所長 松村 義広様 附属小学校後援会副会長 宮永 尚様の3名の方です。

学校から説明させていただいたのは次の項目です。

- ① 教育実習について
- ② 学力検査の結果について



上記2項目についてそれぞれの評議員の方からお話をいただきました。

### ① について

- ・実習生が子供の話を視線を合わせて聞こうとしている姿がよかった
- ・教職員が子供の姿から授業を見とっていく姿を実習生が学んでいる
- ・大学生が視野を広げて子供優先で見えていくことで、目の前の子供達に責任を持つことができるようになる
- ・教員に採用になったときに現場の壁を乗り越えるやりがいやコミュニケーション力をつけていく必要がある
- ・初任者アンケートの結果から実習生の学びにつなげていることのよさをさらに深めていくとよい
- ・初任者アンケートが現場のニーズに応える形になっている
- ・実習生に対しての指導について、事実に基づく解決策を練り、柔軟な対応を行っている
- ・大学1年生からの附属での学びに意味がある
- ・学級経営ができないと授業はできない 学級経営と授業の関係を学んで欲しい
- ・子供の発達段階に合わせた指導がとても大事である 等



### ② について

- ・子供達の探求する姿勢が見られた 学習するベースが確立されている
- ・フリートーク等を外部の方に見てもらい公立校等へ伝えていってほしい
- ・小学校と中学校の外国語教育のつながりをどのようにもたせていくのか
- ・特別活動に悩んでいる教員が多い その意義を附属から伝えていって欲しい 等
- たくさんいただいた貴重なご意見を学校運営にいかしていこうと思います。

